

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月29日

上場会社名 養命酒製造株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 2540

URL <http://www.yomeishu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄

TEL 03-3462-8138

四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,716	3.2	860	19.2	994	16.3	650	76.7
24年3月期第2四半期	5,537	△4.2	721	531.1	855	241.3	368	131.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	21	66	—	—
24年3月期第2四半期	12	26	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	33,513	92.0	30,817	92.0	30,817	92.0
24年3月期	34,081	90.6	30,864	90.6	30,864	90.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 30,817百万円 24年3月期 30,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	18.00	18.00	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,750	1.4	1,240	△9.1	1,460	△7.9	920	5.5	30	62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	33,000,000株	24年3月期	33,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,956,767株	24年3月期	2,956,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	30,043,669株	24年3月期2Q	30,046,020株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、緩やかな景気の回復傾向が見られたものの、欧州債務問題による海外景気の下振れの懸念や円高の長期化等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」や「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を主要戦略とする中期経営計画(平成24年4月から平成27年3月まで)の各施策に取り組んでおります。また、平成25年7月の事業開始に向け、埼玉県鶴ヶ島市にある社有地を有効活用した太陽光発電事業の準備に着手いたしました。

当第2四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は5,716百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は860百万円(前年同期比19.2%増)、経常利益は994百万円(前年同期比16.3%増)、四半期純利益は650百万円(前年同期比76.7%増)と増収増益となりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

## ①養命酒関連事業

主力商品「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持するため、効率的な販売促進活動を展開しました。テレビ、新聞、雑誌、インターネット等の各種広告媒体において「『女は7の倍数、男は8の倍数』の節目年齢における養生」を共通の訴求メッセージとし、これらの広告と連動した店頭における販売促進活動を強化しました。

「ハーブの恵み」につきましては、手軽に楽しめる缶タイプ「ハーブの恵み スパークリング」を加え、「香りがおいしいお酒」という酒類における新たな価値を訴求し、テレビ、ラジオ、雑誌、インターネット、交通広告等によりプロモーションを展開しました。また、試飲会、サンプリング等を実施した他、店頭における露出向上に努めました。

海外におきましては、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動の展開に取り組み、「養命酒」の理解と知名度の向上や、効率的な販売促進活動に努めました。また、輸出領域の拡大を目指し、「ハーブの恵み」を商品名「MEGUMI」として輸出を開始し、現地ニーズの把握に着手しました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ドリンク剤」、「ミネラルウォーター」、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」の売上を合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は5,452百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

## ②施設運営事業

「くらすわ」につきましては、生活者の皆様のニーズや季節に応じた商品開発、信州の素材を活かした料理メニューの充実やサービスの向上に努めました。また、開業2周年イベントをはじめ、夏季の観光シーズンには、諏訪湖畔の立地を活かしたイベント等を開催し、集客に取り組むとともに、期間限定での首都圏における催事出店、オリジナル商品の通信販売、小売店への卸売等、販売チャネルの拡充に努めました。

以上の結果、「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上を合算いたしまして、施設運営事業の売上高は218百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

## ③その他

不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入減などにより、45百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べ567百万円減少し、33,513百万円となりました。これは主に現金及び預金が555百万円増加した一方で、債券の償還により有価証券が797百万円、減価償却により有形固定資産が147百万円、保有株式の時価評価の減少により投資有価証券が150百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ520百万円減少し、2,696百万円となりました。これは主に未払法人税等が116百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が220百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ46百万円減少し、30,817百万円となりました。これは主に四半期純利益650百万円の計上と配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が110百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金が156百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ1,244百万円減少し、2,321百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は、278百万円（前年同期比66.3%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益991百万円、減価償却費282百万円、売上債権の増加額185百万円、未払費用の減少額213百万円、法人税等の支払額429百万円によるものであります。なお、前年同期に比べ減少しているのは、主に法人税等の支払額が増加したことによるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、984百万円（前年同期比748.9%増）となりました。これは主に定期預金の預入による支出（預入と払戻の純額）800百万円と有形固定資産の取得による支出152百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、538百万円（前年同期比0.0%増）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の業績予想につきましては、平成24年10月11日に発表いたしました通り、売上高11,750百万円、営業利益1,240百万円、経常利益1,460百万円、当期純利益920百万円となる見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益へ与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,126,565	2,681,833
売掛金	2,306,853	2,492,849
有価証券	3,199,196	2,401,521
商品及び製品	333,225	339,281
仕掛品	186,268	183,745
原材料及び貯蔵品	406,395	390,493
その他	213,515	341,451
流動資産合計	8,772,021	8,831,175
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,697,560	3,609,990
その他(純額)	3,144,291	3,084,507
有形固定資産合計	6,841,851	6,694,498
無形固定資産	41,457	28,297
投資その他の資産		
投資有価証券	12,439,873	12,289,514
長期預金	3,900,000	3,700,000
その他	2,093,017	1,977,354
貸倒引当金	△7,066	△7,066
投資その他の資産合計	18,425,824	17,959,803
固定資産合計	25,309,133	24,682,599
資産合計	34,081,155	33,513,774
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	263,186	224,684
未払法人税等	424,510	308,027
賞与引当金	241,346	220,893
その他	1,312,300	978,460
流動負債合計	2,241,343	1,732,064
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	927,382	915,719
固定負債合計	975,732	964,069
負債合計	3,217,075	2,696,133

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	30,943,343	31,053,431
自己株式	△2,883,975	△2,884,296
株主資本合計	30,386,047	30,495,814
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	478,031	321,826
評価・換算差額等合計	478,031	321,826
純資産合計	30,864,079	30,817,641
負債純資産合計	34,081,155	33,513,774



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,537,107	5,716,458
売上原価	1,871,640	1,889,068
売上総利益	3,665,466	3,827,389
販売費及び一般管理費	2,943,926	2,966,985
営業利益	721,539	860,404
営業外収益		
受取利息	26,323	24,952
受取配当金	101,850	103,503
その他	16,210	14,157
営業外収益合計	144,385	142,613
営業外費用		
支払利息	10,297	8,085
その他	372	268
営業外費用合計	10,669	8,353
経常利益	855,255	994,663
特別利益		
固定資産売却益	—	949
特別利益合計	—	949
特別損失		
固定資産除却損	684	4,337
投資有価証券評価損	296,893	—
特別損失合計	297,578	4,337
税引前四半期純利益	557,677	991,276
法人税、住民税及び事業税	193,000	314,000
法人税等調整額	△3,587	26,401
法人税等合計	189,412	340,401
四半期純利益	368,264	650,874

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	557,677	991,276
減価償却費	318,122	282,944
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,286	△20,453
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,734	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,500	—
受取利息及び受取配当金	△128,174	△128,455
支払利息	10,297	8,085
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△949
有形固定資産除却損	684	4,337
投資有価証券評価損益(△は益)	296,893	—
売上債権の増減額(△は増加)	△307,138	△185,995
たな卸資産の増減額(△は増加)	61,252	12,369
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,690	△38,502
未払費用の増減額(△は減少)	218,659	△213,481
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,073	△11,531
その他	△206,461	△111,767
小計	728,101	587,875
利息及び配当金の受取額	136,609	134,659
利息の支払額	△17,554	△14,606
法人税等の支払額	△20,442	△429,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	826,715	278,222
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,500,000	△1,500,000
定期預金の払戻による収入	1,400,000	700,000
有価証券の償還による収入	500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△51,177	△152,913
有形固定資産の売却による収入	—	950
無形固定資産の取得による支出	—	△1,753
投資有価証券の取得による支出	△502,457	△500,017
その他	37,684	△30,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,950	△984,323
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,050,000	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△727	△321
配当金の支払額	△538,051	△538,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△538,778	△538,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	171,985	△1,244,732
現金及び現金同等物の期首残高	2,829,333	3,566,551
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,001,319	2,321,819

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

セグメント別売上高内訳表

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	当第2四半期累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	前事業年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
養命酒関連事業	5,272,945	5,452,273	11,129,686
養命酒	5,061,463	5,258,057	10,663,279
(うち輸出分)	(174,674)	(183,300)	(466,900)
その他	211,481	194,215	466,407
施設運営事業	197,039	218,493	345,331
その他	67,123	45,691	114,003
合計	5,537,107	5,716,458	11,589,021

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。